

◆いあいさつ

日増しに寒さが身にしみるようになり季節の移り変わりを感ぜませんが、元気に仕事をさせていただいております。平成29年度は県議会産業委員会に所属し、県の経済政策全般について審議してまいります。県や市が経済の好循環により潤わなければ、福祉や子育て、教育などに使えるお金も減る一方で、市民の皆様とお話しをさせていただきます。文献と向き合いながら、県と地元湖西市がどのように



田内浩之 たないひろゆき

熱情と迫力

静岡県議会議員 [無所属]

田内浩之事務所

〒431-0431
静岡県湖西市鷺津 330-11
I・HEIM II 101号

電話 053-575-3105
FAX 053-575-3107
携帯 080-1553-9629
ホームページ <http://www.tanai.jp>
メール info@tanai.jp

■事務所の開いている時間
平日 9時～12時・13時～16時 / 祝日は休み
※都合により変更するので、お電話をいただけるとありがたいです。緊急の場合は携帯へお願いします。

なれば潤うのかを考え、頭を悩ませる日々です。現時点では、湖西市の経済発展のためにやるべきことは、ものづくり産業の強みを維持しながら、農水産業で稼げる体制づくりをし、浜名湖という素晴らしい資源を生かした観光事業を伸ばすことだと考えています。そして、これを実行するのは民間の方々です。行政は新しい産業を生み出す力はありませんが、中長期でどの産業に力をいれるかを示し、がんばっている企業や個人事業主、農・漁業者のみなさまを支援することが必要です。引き続き、市民の皆様と一緒に走りながら考え、目に見える形で実行していきたいと思っておりますので、ご指導ご支援をよろしくお願いいたします。



①湖西警察署移転
1億8700万円

湖西警察署の移転用地を取得する予算である1億8700万円が、県議会平成29年9月定例会にて可決されました。移転先は湖西市

湖西市関連の静岡県
平成29年度9月補正予算
(一部記載)

◆ご報告①

②小規模企業
経営力向上支援事業
1億円

今年度、中小企業・小規模企業を応援するために新たに創設された事業です。企業のチャレンジを応援する補助金ですが、今年度予算はなくなってしまう見込みのため補正予

民会館跡地に決定し、開署時期は平成33年春の予定です。警察署は日ごろの治安維持はもとより、大規模災害時には様々な役割を果たさなければいけません。主に避難誘導・救出救助、緊急交通路の確保・信号機の滅灯対策、通信手段の確保、行方不明者の捜索、被災地における犯罪抑止対策等がありますが、現在の湖西警察署は津波浸水域にあるため役割を果たせないことが予想されます。新居地区の皆様からは様々なご意見をいただきましたが、新居地区を含めた湖西全体の災害対応力の強化のためにも必要な移転だとご理解いただければありがたいと思います。

算にて追加をいたしました。地域の中小企業・小規模企業が元気になることは、湖西市の発展につながります。地元で買えるものはなるべく地元で買うことにより、市民の皆様にも是非地域の事業者さんを応援していただきたいと思えます。

◆ご報告②

湖西市に関連する静岡県動き

①川勝知事に上田町急傾斜地崩壊対策兼避難施設整備事業と住吉地区命山整備事業を報告

10月16日、県が行っている上田町急傾斜地崩壊対策兼避難施設整備事業と市事業に県が土砂を供給している住吉地区命山整備事業



を、県職員や市長・市の職員の皆様と一緒に川勝平太静岡県知事に説明させていただきました。平成31年完成予定の上田町の事業に対しては「山を寄付していただいた東福寺様の徳と地域の皆様のご協力により成り立つ事業であり、心より皆様に感謝申し上げます」とおっしゃっていました。

②サイクルスポーツの聖地づくり

平成27年12月、伊豆ベロドロームおよび伊豆マウンテンバイクコースが、それぞれ2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック自転車競技のトラック・レースとマウンテンバイクの開催会場となることが決定しました。こうした世界水準の資源と、自転車競技への機運の盛り上がりを背景に、国内外からのサイクリストの憧れを呼ぶ「ふじのくに」を目指すため、浜名湖においても県は民間団体等と協力をして「サイクリストの視点に立った安全・快適なモデルコースの選定」と「サイクルツーリズムの受入態勢指針の策定」「サイクリストの走行環境の整備」に取り組んでいます。今後は、国内外から多くの人々が自転車の愛好者・競技者として浜名湖を訪れ交流し、地域経済の好循環を目指すこと

もに、市民の皆様が生涯スポーツとして自転車に親しみ健康的な生活をおくっていただきたいと考えています。



③松山茶屋松線

湖西市は、約50haの工業団地を造る「浜名湖西岸土地区画整理事業」の予定地から国道1号浜名バイパスへのアクセス道路になる松山茶屋松線の建設を目指しています。湖西市議会の9月定例会では道路に対する調査費等が計上され、新幹線をどのように超えるか等

の課題はまだありますが事業が進み始めます。道路の線を決めるのは県との協議が必要のため、私も微力ながら調整に努め、工業団地への企業誘致を実現するために市内企業はもとより、県の東京事務所の協力を経て団地のPRに努めました。また、県は誘致を促進するために、新規産業立地事業費補助金を見直し、他県に負けない補助制度にいたしました。市民の皆様のご支援をいただき、関係者一丸となって道路と団地の建設を実現したいと思っております。

④ 森の力再生事業

静岡県は、荒廃した森林を再生し、山地災害の防止や水源のかん養などの「森の力」を回復させる「森の力再生事業」の財源として、「森林づくり県民税」を平成18年度から導入し、県民の皆様から年400円をいただいております。この事業を使い、現在白須賀地区では、地域の皆様のご支援もいただき白須賀小学校・中学校の通学路付近の竹林除去と大木の間伐を行う予定です。県内であれば利用できる可能性がある事業ですので、ご関心がある方はぜひご相談ください。

⑤ 避難所運営マニュアル

県は、今年度中に南海トラフ地震などの大規模災害に備える「避難所運営マニュアル」を改訂します。同マニュアルは、災害時に市町が開設する避難所の運営に際し、自主防災組織などに参考にしてもらう資料です。避難所運営組織の作り方、役割分担などの運営体系をはじめ、食物・物資の受け入れや管理・配布の仕方、風呂やトイレの設営といった避難生活に関わることで、細かく示しています。しかし、熊本地震の被災地では、多くの避難者が車中泊を続け、避難所の運営側が実態をつかみにくい状況だったことや、避難所運営を行政職員に頼りすぎて運営がうまくいかない避難所があったなどの課題があったそうです。昨年度県は熊本地震で被災した熊本県内で実態調査に当たり、熊本地震避難所実態調査報告書（ご覧になりたい方はご連絡ください。お届けします）を作成しました。現在マニュアルの改訂に取り組む県の担当者は元湖西市危機管理監の藤田氏ですので、私も実態に即したマニュアルにすべく提言をしています。市民の皆様からのご意見をいただければありがたく思います。

◆ご報告③

平成29年6月県議会定例会

一般質問

平成29年7月19日、県議会本会議において観光、道路、介護、医療等について質問を行いました。通常県議会の一般質問は年に1回なのですが、今年は仲間の議員の代わりにプラス1回の機会があり、平成30年2月議会にも質問を予定しています。一般質問はただ問いかけるだけではなく、課題解決を実際どのように県当局に実行してもらうかが大切だと思います。今回の質問は県当局も重く受け止めていただいております。いろいろと知恵を授けてくださり、一緒に課題に取り組んでいただいた皆様には心より感謝を申し上げます。

※詳細はホームページに掲載してありますので是非ご覧ください。



1 サイクルスポーツの聖地づくりについて

(1) サイクルリストのための情報発信と環境整備
 答弁者…知事

問旨

本県において、国内外から多くのサイクリストを受け入れていくためには、サイクリストのレベルやニーズに合ったモデルコースの設定、ターゲットを明確にした情報発信が必要だと考える。併せて、矢羽型路面表示や、道案内路面標示や看板設置等、サイクリストのための環境を整備していくことで、全国屈指のサイクリングコースとして売り出していけるのではないかと？

答弁

今年度、サイクリストを迎える環境整備として、浜名湖地域において「安全・快適の道」緊急対策事業により、自転車走行環境の改善を図る。加えて、自転車の走行位置を分かりやすく伝える矢羽根型の路面表示、並びに市町との協力による交通の結節点等への案内看板の設置などにも取り組む。また、様々なレベルのサイクリストに応える情報発信として、多彩な魅力を有する県内各地のコースの紹介に加え、バイシクルピット、レンタサイクル店などの受入態勢や、競技会や自転車イベントの開催情報など、関連情報を一元的かつタイムリーに提供するウェブサイトの作成に取り組む。



(2) サイクルリストのための浜名湖西岸の道路整備
 答弁者…交通基盤部長

問旨

浜名湖周辺の道路状況は、浜松市側は、自転車道が整備されてはいるが、ロードバイク愛好者のニーズに対応することができていない。湖西市側は、自転車道自体が整備されておらず、特に交通量の多い国道301号では自転車と自動車とが混在し、大変危険な状況が生まれている。この危険を回避するため、安全な自転車走行環境を確保するため、安全と考えるが、浜名湖西岸の道路整備をどのように進めていくのか？

答弁

車道の幅員が狭くサイクリストの安全確保が課題となっていた国道301号の約2km区間については、現在、湖西市横山、利木及び太田の3箇所道路拡幅工事を実施中であり、これにより安全な自転車走行環境の確保を進めているところである。また、国道301号においては、矢羽根型路面表示の設置により、自転車の走行位置を明示するとともにドライバーへの注意喚起を促すこととしている。



2 主要地方道豊橋湖西線について

答弁者…交通基盤部長

問旨

地元住民が主体となり交通安全対策検討会を立ち上げ、6月19日に浜松土木事務所へ提言書を提出した。提言内容は、①豊橋湖西線と湖西東細谷線の交差点改善、継続して豊橋湖西線と市道古見一宮線の交差点改善②連続した歩行空間を確保③ドライバーへ危険箇所の注意喚起④交通安全への啓発活動である。そこで提言のあった交差点対策と歩行空間の確保について、どのような対策をすすめていくのか？

答弁

今回提出された提言は、当該道路を頻繁に利用されている住民の皆様のご熱意と期待を感じる貴重な御意見であり、提言内容である交差点改善のうち、まずは、形状が変則で見通しの悪い県道湖西東細谷線との交差点の安全確保に向け、本年度から具体化に向けて着手していく。また歩行空間の確保につきましては、人家が連担している沿道の状況を踏まえ、早期の事業効果発現を図るため、側溝部分を活用した歩道整備や路肩のカラー舗装による安全対策を検討する。



3 精神障がい者雇用について

(1) 企業への啓発活動の必要性

答弁者：経済産業部長

問 旨

平成30年4月施行により法定雇用率の算定基礎の見直しが行われ、現在の算定基礎の対象は「身体障がい者又は知的障がい者」であるのに対し、精神障がい者も含まれることになるが、まず、企業への啓発活動が必要である。大企業は自社で特例子会社を持つなど、ノウハウを蓄積しているが、中小企業には初めて精神障がい者を雇用する上での不安や、サポート制度等への理解の不足があり、地道な啓発活動が求められている。そこで、企業への啓発活動を、今後、県はどのように進めていくのか所見を伺う。

答 弁

本年度は、障害者雇用に関する企業向けセミナーにおいて精神障害のある人を雇用している企業の事例を紹介する。また雇用推進コーディネーターが求人開拓のために行う企業訪問や商工会議所、商工会等が開催する勉強会において精神障害のある人を雇用する場合の留意点を解説した動画を作成し、より丁寧に企業の不安の解消に努める。さらに九月に開催する県障害者雇用促進大会に精神科医を招聘し精神障害のある人の職場

における能力の引き出し方を紹介するなど、就業現場での課題解決の参考となる情報を提供していく。

4 介護認定のばらつきについて

答弁者：健康福祉部長

問 旨

介護サービスの必要度の判定は、客観的で公平な判定を行うため訪問調査に基づくコンピュータ一次判定と主治医意見書、これらを原案として保健医療福祉の学識経験者が行う二次判定の二段階で行うが、そもそもコンピュータに入力するデータを判断するのは人なので認定調査員のレベルの差が大きく、人による認定のばらつきが出るとの意見を介護事業者からいただいている。そこで県として、市町においての調査員の認定におけるばらつきについて課題をどのように認識されているのか、また課題解決に向けてどのように考えているのか、県の所見を伺う。

答 弁

県としてはこの調査員の研修制度につきましましては今まで以上にしっかりとした研修をして調査員の能力によっての判定のばらつきが生じないように努めてまいりたい。

要望

介護事業者にしっかりと調査をしてばらつき感についてどのように感じているのかという現状把握をしっかりとしたい。



5 地域医療構想の課題と保健医療計画について

答弁者：健康福祉部長

問 旨

平成28年3月、地域医療構想が策定され、平成37年に必要とされる病床数等が示された。急性期病床から回復期病床への転換について、回復期は、必要病床数7903床に対して、平成28年の病床機能報告では3698床となっており、西部医療圏についても、回復期病床が明らかに不足していると数字が示している。在宅医療についても、地域医療構想では、在宅医療等の必要量4万93人に対して、平成25年度の供給量は2万7368人となっている。回復期病床への転換と在宅医療に係る現状値と必要量のかい離を、それぞれどのように埋めていくのか？



**弁
答
内
容**

回復期病床の必要数の確保については、病院施設の改修や設備整備への助成により、平成26年度から28年度までの3年間で741床の機能転換を行った。今後も、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能を確保するため、病院や関係団体等の意向も伺い、地域医療介護総合確保基金などを活用し、医療機関の回復期病床への転換の取組を積極的に支援していく。在宅医療体制の構築については、訪問看護ステーションの新設支援や、在宅医療を実施する有床診療所の整備補助事業を進め、地域において必要な医療を提供できる体制の整備に努めている。

◆ご報告④

**平成29年6月議会・9月議会
産業委員会 質問**

本年度は経済全般を担当する県議会産業委員になりました。以下に6月議会・9月議会での私の質問（抜粋）を掲載いたします。

6月議会産業委員会

●県内水道の広域化について



静岡県も市町含めての水道広域化を目指すべきと考えている。県の考えは？（湖西市においても水道事業は大きな負担となっており、市の負担を減らす意味でも県下の水道事業を広域化することが、私は必要だと考えています。）



市町水道の老朽管の事業を抱えていること、給水人口が減少して給水量が減少すること、また技術職員が減少するということで、国も広域化の推進をするということになっている。県においても、昨年度、市

**要
望**

町行財政課が所掌する行政経営研究会、この中で水道事業の広域化というものを市町行財政課とそれから水道行政を所管するくらし・環境部の水利用課、これが中心になり、県外5圏域に分けて研究会を始めている。しかし、各市町では施設管理の把握が十分できていないということ、その統合の必要性、広域化の必要性がまだ議論できる状況にないと考えている。

広域水道についての考え方だが、「各市町の状況がまだ把握ができていないので時期尚早です」という理由は、納得がいかない。何か全体としてやるべきであれば、当然企業局で各市町に働きかけて引っぱり張っていくぐらいのこともできるはず。当然企業局としても、各受水市町と一緒になれば、スケールメリットというのは必ず出てくると思う。マンパワーの件に関しても、小さい自治体では水道事業に対する知識を持っている職員が少なくなり、高齢化もしているということ、非常に危機感を覚えていると思う。企業局として広域化というものを、一度しっかりと議論をしていただいて、考え方をまとめたいということ、決してマイナスになることではないので、要望する。

9月議会産業委員会

●アサリの資源回復について

Q

浜名漁協から、「アサリは砂利の中だとよく育つので、研究等の取り組みを進めてほしい」との要望があった。県としてどのような取り組みをすすめていくのか？

A

砂利の敷設によるアサリの育成については、県水産技術研究所浜名湖分場において、今年度から来年度にかけて試験研究を実施することにした。

※来年度に出てくる研究データがよければ、事業として大規模に取り組めるよう努める。



●農業者への支援について

Q

新規就農者とビジネス経営体に移行する農業者に対しての県の支援はあるが、就農してからビジネス経営体に移行する手前の農業者に対しての支援が少ない。このゾーンの農業者に対しての支援についてどのように考えているのか？

A

農業者から声をしっかりと聞き取り、どういう課題があるのか、どういう支援ができるのか把握し、支援策に反映させたい。

●農林事務所の職員の訪問について

Q

現場主義を徹底するなら、農林事務所職員が農業者を訪問する機会を多く設けるべきだと考える。改善をどのようにしていくのか？

A

中遠農林事務所に4人の巡回支援チームを配置した。このうちの2人は野菜の担当者であり、中遠地域と湖西市を含めた西部地域の担当。この取り組みの効果を検証したうえで更なる選任体制について検討していく。



▲防災訓練で



▲浜名湖三ヶ日道路総会



▲川勝知事との話し合い

議会見学ツアーのご案内

日頃よりご支援賜りまして誠にありがとうございます。このたび、平成30年2月28日(水)の県議会一般質問に登壇いたします。それに合わせ、恒例の県議会を見学するツアーを企画しましたので、皆様お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

今回は、徳川家康公ゆかりの禅寺・可睡齋(袋井市)に立ち寄り、国登録有形文化財に登録された日本最大級のひな飾りや室内牡丹園を見学します。また、焼津さかなセンターでのお買い物もお楽しみいただけます。

静岡県議会議員 田内 浩之

日 時： 平成30年2月28日(水)

行 程： 各集合場所(バス乗車地をご参照下さい)～可睡齋(約50分)～
バス内にてお弁当～県議会見学(約60分)～
焼津さかなセンターにて休憩・お買い物(約40分)～
集合場所への到着予定時刻 18:30頃



参加費： 6,000円 *当日、集金させていただきます。(可睡齋入園料・お弁当・お茶代含む)

*参加ご希望の方は、お電話またはFAXにて**2月9日(金)まで**に、田内浩之事務所までご連絡下さい。後日、詳細日程をお送り致します。

電話：053-575-3105 FAX：053-575-3107



キリトリ



参加申込書

フリガナ		生年月日
参加者氏名		昭和 年 月 日 (歳)
住 所	〒431- 湖西市	
電話番号 (できれば携帯電話)		
バス乗車地 (いずれかに○)	新居関所駐車場(9:10発)・JR 鷺津駅(9:20発)・本興寺(9:25発) JR 新所原駅(9:20発)・パレマルシェ東(9:25発) 梅田コミュニティセンター(9:30発)・北部多目的センター(9:40発)	

*出発時刻は、参加状況により変更となる場合がありますのでご了承ください。
後日お送りするご案内にて、詳しい日程をお知らせ致します。



バックナンバーございます

このたよりは議員として働かせていただくようになってから第24号のたよりです。
1～23号をご覧いただけていない方で、ご希望していただける方には送付いたしますので、
事務所まで電話かFAX、メールにてご連絡ください。よろしくお願いいたします。



ご意見
お問い合わせ

静岡県議会議員
田内浩之事務所

〒431-0431 静岡県湖西市鷺津330-11 I・HEIM II 101号

TEL. 053-575-3105 ■携帯 080-1553-9629
FAX. 053-575-3107 ■info@tanai.jp

田内浩之

検索

http://www.tanai.jp/

発行元 株朝倉印刷